



古く歴史の感じる寺をよく見て描いています。特に広くどっしりした屋根の表現や格子の窓にがんばりを感じます。

『夕ぐれの龍徳寺』

小樽市 潮見台小学校4年生 松崎 帆夏



紙版画の上に切り抜いた私を組み合わせました。絵の中にはかいじゅうにのった楽しい私があります。想像の世界の楽しさが感じられます。

『かいじゅうとわたし』

苫小牧市 拓勇小学校1年生 栗山 真菜



船の白や青の色と海の色をやわらかな青の表現がよく工夫されています。細部まで熱心に描けています。漕をする船の力強さが伝わってきます。

『大栄丸』

豊浦町 豊浦小学校5年生 大金 彩花



いちご狩りの楽しかった思い出が描かれています。おいしくて大好きないちごがつつぎとたくさん描かれ笑顔からも楽しさが感じられます。

『いちご狩り』

上富良野町 上富良野高田幼稚園 舟木 美紀

第34回教育美術展奨励賞作品より

<http://hokuzou.kir.jp/> で他100点の作品もご覧いただけます

検 索

▶北海道造形連盟◀

手前から向こう岸へ流れる構図が画面に奥行きと広がりを与えています。湖面に映る木々や水草などの表現も見事です。➡

『水のある風景』

札幌市あいの里東中学校3年生 宮 瑠花



<目 次>

- ・第34回教育美術展奨励賞作品 1〈表紙〉
- ・北海道造形教育連盟委員長挨拶 2
- ・今年度の研究について 3
- ・第58回全道造形教育研究大会いしかり北広島大会のご案内 4~5
- ・ネットワーク部会の取り組みから 6~7
- ・第35回教育美術展応募要項について 8



北海道
造形教育
連盟報

No.126 2008.7.1発行

発行 北海道造形教育連盟

委員長 菅原清貴 (札幌市立幌西小学校)

事務局 札幌市立盤溪小学校 稲貴 順

〒064-0945

札幌市中央区盤溪226

TEL(011)642-3223・FAX(011)642-3287



造形教育の存在感を一層確かなものに

北海道造形教育連盟

委員長 菅原 清貴

(札幌市立幌西小学校)

■ はじめに

私達は、子ども一人ひとりが自らの表現に自信をもち、安心して活動を楽しむ造形教育を求めて研究を積み上げてきました。今年度で58年の歴史を刻む当連盟は、子ども達と共に歩んだ創造の道でもあります。私は、4月26日の地区委員総会で今裕子委員長よりパトタッチを受けました。役員・本部事務局員とともに宜しくお願いたします。

■ 時代に対応する組織体へ

昨年度、本部常任委員会が全道18支部のセンターとして一層の機能充実を図るため、組織を改革しました。この取組が、充実発展するため具体的な行動を「平成20年度活動方針」に沿って推し進めます。

また、地区委員総会でご意見いただいた「北海道造形教育連盟規約」の見直しを「規約改定審議委員会」を立ち上げ、次年度総会での承認を目指し進めます。これらの推進を通し、当連盟が一層時代の変化に対応する先進的研究活動集団として組織強化を図ります。

■ 「我が国の教育」を担う宝教科

世界の国々で、義務教育に造形教育の授業を実施している国は少ないそうです。「子どもの数だけ答えのある教科」として、子ども達の個性を大切に育ててきた我が国の造形教育の水準は、世界に誇れるものです。文部科学省は、3月28日に新学習指導要領を告示しました。「生きる力」の理念を残し、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視した内容となっています。私達連盟は、造形教育で培った資質や能力を活かし、豊かな情操をもった温かな人づくりに貢献する教科として、その存在感を一層アピールしなくてはなりません。

■ いしかり・北広島大会の役割

第58回造形教育全道大会は、石狩造形教育連盟が

中心となり、着々と準備を進めています。注目すべきは、研究大会の主役を子どもに置いての取組でしょう。具体的には、大会の公開授業で学んだ子ども達に「メッセージカード」を参観者がその場で書きプレゼントする試みです。全道から大会に参加する多くの先生が、はじめて出会う子ども達に真心込めてその頑張りを称えるのです。なんて、素敵なことでしょう。

また、「造形教育の指導がよくわからない」という先生に「基礎が学べる研究会」という発信をしています。本道の中学校では、様々な理由で美術科の免許をもたない先生が指導にあたっている場合が多くあります。幼稚園や小学校の先生も「どう教えるの?」と悩み教壇に立っているという話もよく耳にします。いしかり北広島大会は、そのような先生に大会そのものが「美術教育支援」という側面ももたせたいと準備を進めていると聞きます。「授業なにやる?」「どうやるべきなの?」という、切実な悩みに光を当てる大会になりそうです。

■ 平成23年の全国大会開催をめざして

昨年度の全国造形教育連盟代議員会で、平成23年全国造形教育研究大会を北海道・札幌で開催することを宣言してきました。開催地は、札幌市ですが全道18支部が総力を挙げてつくり上げる大会としたいと考えています。造形教育連盟の全道ネットワーク部会と研究部が創意をこらし、その参加の在り方を提案していきたいと思っています。また、「開かれた大会」となるために、美術館やPMF音楽祭などとの連携をさらに充実させ、造形教育の価値をあらゆる人々に発信する大会となるよう準備を進めます。連盟に集う全道の皆さんの奮起を期待します。

北海道造形教育連盟役員（部長会構成スタッフ）

- 委員長 菅原 清貴 (札幌市立幌西小学校長)
- 副委員長 富田 賢司 (札幌市立札幌北中学校長)
- 副委員長 墓田 充泰 (千歳市立富丘中学校長)
- 副委員長 加藤 隆 (旭川市立台場小学校長)
- 副委員長 武田 誠 (函館市立北昭和小学校長)
- 副委員長 宝輪 勝己 (釧路市立芦野小学校長)
- 事務局長 稲實 順 (札幌市立盤溪小学校長)
- 事務局次長(研究) 中居 正光 (札幌市立菊水小学校)
- 事務局次長(研究) 川島 正夫 (札幌市立幌南小学校)
- 事務局次長(事業) 東 尚典 (札幌市立大谷地東小学校)
- 事務局次長(事業) 福島由紀子 (札幌市立澄川西小学校)
- 監査 伝住 修一 (北広島市立若葉小学校長)

- 監査 森 洋 (旭川市立啓北中学校)
- 会計 谷山 圭子 (札幌市立あいの里西小学校長)
- 全道事業部統括部長 田口 和男 (札幌市立厚別西小学校長)
- 全道研究部統括部長(規約改定審議委員長兼務) 土井 善範 (札幌市立鴻城小学校長)
- 総務部長 今 裕子 (札幌市立福住小学校長)
- 庶務部長 筋内 浩之 (札幌市立真駒内曙小学校)
- 広報部長 松本 和彦 (札幌市立発寒小学校)
- 事業活動部長 八田 博之 (札幌市立中央小学校)
- 事業研修部長 向井 正樹 (札幌市立あいの里東中学校)
- 研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立伏見小学校)
- 道初代会長 小林 知広 (札幌市立前田北小学校)



北海道の力を結集！そして次のステップへ

北海道造形教育連盟

研究部長 湯浅大吾
(札幌市立伏見小学校)

1. 新指導要領にみる造形教育連盟の役割

昨年度末幼稚園・小学校・中学校で、新しい学習指導要領が告示されました。幼稚園学習指導要領では、幼小の円滑な接続を図るため、幼小の連携の推進が重点の一つとしてあげられています。また、今回の改訂では6つの改善点の観点の一つである「豊かな人間性と感性の育成」のもと、図画工作及び美術の改善の内容と方向性が示されました。小学校と中学校においても、従来よりもより一層それぞれの発達に合わせながら、学習指導観の連続性が図られたような印象をもちました。

私たち北海道造形教育連盟は、幼稚園から高等学校、特別な支援を要する子どもたちに対する造形教育のより良い在り方を探究する研究団体です。幼稚園教諭から大学教授と様々な校種のメンバーで構成されているのも特徴の一つです。

私たちが、目の前の子どもの姿を通じた情報の交換を活発にし議論を重ね、発達や現状に寄り添った造形教育を押し進めていくことが、子どもたちの健やかな成長にもつながり、造形教育の有用性が社会に見直されていくことにもつながっていくと考えます。

2. 生きる力と自己創造感

子どもは誰でも好奇心をもっています。好奇心は、大人になって一人で生きていくためのスキル（専門的な技術）や、そのための訓練をする上で、非常に重要になってきます。大人は子どもの好奇心を摘まないようにして、様々なものを選択肢として子どもに示すだけでいいと思います。

村上 龍「13歳のハローワーク」より

北海道造形教育連盟の研究主題は、「出会いと対話から自己創造感が生まれる造形教育」です。私たちの研究を「習得」「活用」「探究」を視点として見つめてみると、「習得＝つける力」「探究＝引き出す力」「活用＝育む力」と位置付けることができると考えます。村上氏の言葉を借りるまでもなく、好奇心が学習意欲のベースとなります。そこから考えると、この3つの力は並列ではありません。教材化や学習構成を図るとき「おもしろそうだ」「やってみよう」という子どもの好奇心を掘り起こすことが、良い授業を実践していくときの大前提になっていきます。つまり、

〔探究的な導入から始まる〕

→〔これまで習得してきた力を活用する〕

→〔新たな技能の習得〕

→〔さらに探究が始まる〕

このような学習サイクルが具現化されていったとき、「出会い」により引き出された好奇心が、「対話」により探究として深まり、その結晶として「自己創造感」が生まれ、習得した力を活用する力、すなわち子どもの生きる力を育む造形教育が実践されていくと考えます。

3. 現研究主題の集大成としての北広島大会

皆さん、7月に開催される北海道造形教育石狩北広島大会のホームページはご覧になったでしょうか。私は、それを「北海道の造形教育がどうあるべきか」という主題の論文だととらえました。造形教育に携わる中堅教師としての私にとっても、日々の図工の授業に困りを感じている若手教師にとっても、免許外の美術を担当しなくてはならない専門外の教師にとっても目を通すだけでも有意義な研修になる内容だと思います。

これだけ充実した内容を公開してくださっているのですから、私たちは石狩の同士の思いや願いを十分に把握し、授業を見る視点を携えて大会に参加しようではありませんか。

そして、現研究主題の集大成でもある北広島大会の成果と課題をみんなで検討し、次のステップに向かえることを楽しみにしています。

4. 全道の力を結集して新研究主題へ

2001年の全国造形教育北海道大会以後、日常的なメーリングリストによる交流の他、春・夏・冬のネットワーク会議により各地区サークル同士の関係は、「チーム北海道」としての一体感を年々増してきています。今こそ、造形教育を通して子どもをどう育てたいのかという『子ども論』を核にして議論を重ねましょう。その中で北海道の造形教育を牽引していく、2011年の全国大会も視野に入れた北海道造形教育連盟の研究主題をみんなで構築していくことが実現できると考えています。

私は、学生の頃から今現在もラグビーを楽しんでいます。スクラムを組むときは、仲間の脇腹に腕をまわし親指にジャージを絡めしっかりと握り込み、そして締め上げます。この締め上げが弱いといくら個々の身体能力が高くても、力が分散して押し負けてしまいます。しかし、お互いの体がしっかりと密着し力が一点に集中したとき、体格で勝る相手にも勝つことができます。

私のポジションはフッカーといって、スクラムの最前列の真ん中でスクラムをコントロールする役割です。造形教育連盟においても、研究部が各部と連携を図りながら、北海道の力を結集する役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。



図工・美術
授業づくりの
基本を
学べる研究会！

図工の授業って、よくわからない。
 免許外で美術の授業を担当…。
 もっと子どもの力を高めたい。

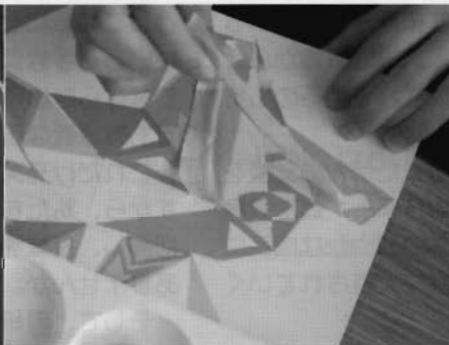
図工・美術教育の研究団体が
 総力をあげてそんな声にこたえます。

7月28日(月)-29日(火)

北広島市で

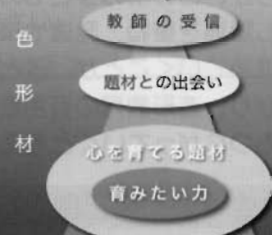
<http://iart.main.jp/>

「石狩造形教育連盟」で検索



「授業何やる?」「どうやるべきなの?」そのような素朴な問いに答える大会にしたい。

豊かな心と確かな力



教育課程 環境

10の公開授業
幼稚園・小学校・中学校

日常的な授業を中心に公開します。誰でも出来る授業づくりをめざします。

授業に役立つ
実技研修・教材紹介

実技研修・教材紹介・子どもの絵の見方。授業づくりのヒントが多数。石狩の技法DVDも販売

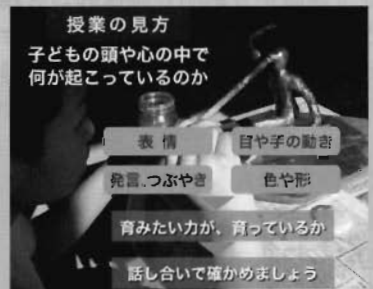
実践研究発表
もう一つの公開授業

授業のビデオや写真を使った提言。手応えは公開授業なみに。提言は30分!

講演会
「授業づくりのポイント」

東京未来大学の橋功氏の講演。わかりやすく、本質を語るお話は今春の函館でも大好評!

育てたい力を明確にした「心を育てる題材」を用意する。
 子どもと題材との出会いで意欲を引き出し、その活動をしっかり受信していく。
 このことを繰り返していくことで子どもの中に豊かな心と確かな力が育まれていく。
 子どものために充実した環境や教育課程を準備することがその基礎である。



主催 北海道造形教育連盟 石狩造形教育連盟

28日(月)	
9:00	全体会
	研究説明
10:00	公開授業
11:00	授業についての研究協議
12:00	昼食
14:00	提言A協議
15:00	提言B協議
16:00	茶話会

28日の会場は大曲東小学校です。大会受付は大曲東小学校でお願いします。幼稚園の授業公開とその話し合いについては大地太陽幼稚園でおこないます。

研究のプレゼンテーション。30分で本格的に。研究の主旨をご理解いただいでから、研究会に参加していただくことで、授業や提言がよりわかりやすくなるようにします。

- ★ 子どもの頭や心の中で何が起きているのか。
- ★ 育みたい力や心をどう育てようとしているのか。



お好きな提言をお選びください。「提言はもう一つの公開授業。」という考え方で、分科会での提言は一つにしぼりました。なお提言は映像などを使用し、子どもの姿や授業の流れが見えるように工夫します。手応えある、おもしろい分科会をめざします。

一日目の日程終了後、気軽な感じで参加できる交流会を用意しました。お茶でも飲みながら、人の出会いやつながりを大切にしたい。

29日(火)	
9:00	研修会 ワークショップ
10:00	講演会
12:00	閉会式

現場のニーズに応えるべく、実技研修の場をつくりました。また石野で制作した技法のDVDを販売します。なお、参加者のみなさんは手ぶらでお越しただいで結構です。内容によっては人数を限定させていただきます。



大橋さんから「絵を描くのが苦手」と言う子がいます。「ものをつくるのがめんどくさい」なんて言う子もいます。幼い頃、あんなに夢中になってパスを握りしめ、描いながらも懸命にハサミ使っていた子はどこへ行ったのでしょうか？誰だって大好きだったはずなのに……

研修会・ワークショップ	水彩入門	水彩画家でもある竹津昇先生による。質問もどうぞ。
	版画入門	版画の彫りとり、用具の使い方。講師は濱野三喜男先生。
	簡単アニメ制作	アニメづくりの実践を積み重ねてきた野口裕司先生が講師。
	ハンドパペット	楽しい、人形づくり。人形で遊ぶ。講師は伊藤善彬先生。
	各種資料展示	技法DVD、提言用ビデオの試聴など。なんでも展示会移動展。
	子どもの絵のギャラリートーク	子どもの絵を見ながら子どもの思いや学びについて考えます。
書籍・図材展示販売	教科書会社さん、図材メーカーさんによる展示や販売コーナー	

- 会期 2008年7月28日(月)~29日(火) 詳しくは <http://iart.main.jp/>
- 会場 28日~北広島市立大曲東小学校(北広島市大曲光2丁目8番地 電話 011-377-7000) 大地太陽幼稚園(北広島市大曲784-106 電話 011-377-1133) 29日~北広島市ふれあい学習センター「夢プラザ」(北広島市大曲370番地2) 電話 011-370-7373
- 参加費 4000円 ■ レセプション 会費5000円 28日19:30からJRタワーホテル日航札幌3階まで

学年	題材名	授業者	助言者
全 幼児	つながる人と自然 ~ようこそ! 大地太陽ひろばへ~	全職員 大地太陽幼稚園	伊藤 善彬 北海道造形連盟顧問
特別 支援	あつめよう、ならべよう 何に見えるかな?	森 正人 北広島市立大曲東小学校	植木 則子 札幌市立常盤小学校校長
3年	粘土でお話、へんないきもの (つくりたいものをつくる)	松本 圭正 北広島市立大曲小学校	住友 俊郎 江別市立江別小学校校長
4年	ぼくら ちいさなアーティスト ~デッサン(絵に表す)~	鈴木 礼二 北広島市立東部小学校	土井 善範 札幌市立鴻城小学校校長
4年	あすかの森はワンダーランド ~共同制作(絵に表す)~	佐伯 晶宣 江別市立江別第三小学校	加藤 正幸 札幌市立北郷小学校校長
5年	思い、ふくらむ場面 ~「銀河鉄道の夜」の世界(絵に表す)~	中村 安奈 北広島市の台小学校	今 裕子 札幌市立福住小学校校長
6年	伝えよう! 仲間との思い出 ~絵手紙による表現(絵に表す)~	熊谷 宏子 千歳市立高台小学校	安藤 信行 江別市立江別第三小学校校長
1年	「思いのこもった手をつくろう」 (塑造)	西村 司 北広島市立緑陽中学校	加藤 隆 旭川市立台場小学校校長
1年	「My Mark」 (マークデザイン)	野口 裕司 恵庭市立恵み野中学校	村瀬 千穂 北海道教育大学教授
2年	「マイ ハート」 (スクラッチ技法による心象風景)	山内菜穂子 北広島市立東部中学校	奥田 泰朗 釧路市立共栄小学校教頭

校種	提言名	提言者	助言者
幼稚園	『なにに』『わくわく』の 遊びを通して育てたいこと	三浦真奈美 札幌いなづみ幼稚園	伊藤 善彬 北海道造形連盟顧問
小学校	こんなことから始めてみませんか ~小学校の授業づくり~	平山 一弥 千歳市立北栄小学校	釜田 恵児 江別市立江別第三小学校校長
	6年生「身近なものを見つめて」 ~思いを込めて~	山口 浩 千歳末広小学校	住友 俊郎 江別市立江別小学校校長
	『もっとうしたい!』 ~子どもの追求が生まれる授業~	宮田 珠世 札幌市立円山小学校	土井 善範 札幌市立鴻城小学校校長
中学校	よさを感じあい、追求する喜びを 実感できる授業づくり	川名 義美 当別町立中学校	塚野 昭臣 札幌市立福穂中学校校長
	「小さな変化でいつもの題材を もっと確かなものに」	大高 雅子 札幌市立柏中学校	奥田 泰朗 釧路市立共栄小学校教頭
高校	「自己表現の模索を通して」	佐藤 博行 江別市立江陽中学校	墓田 充泰 千歳市立富丘中学校校長
	「手で考える」	松井 茂樹 北海道立北広島高等学校	伊藤光悦 北翔大学講師

校種	提言名	提言者	助言者
特別 支援	大きな絵を描いて絆を深めよう ~この出会いを大切に~	阿部 陽子 千歳市立北栄小学校	植木 則子 札幌市立常盤小学校校長
小学校	題材、素材、人との 出会いを大切に授業づくり	岩崎 愛彦 千歳市立千歳小学校	安藤 信行 江別市立江別第三小学校校長
	「語(かたり)」を促し、 造形を膨らませる	湯浅 大吾 札幌市立伏見小学校	加藤 正幸 札幌市立北郷小学校校長
	子どもが表現にこだわる時 ~「題材との出会い」の工夫~	土橋 直美 更別村立上更別小学校	今 裕子 札幌市立福住小学校校長
中学校	自己実現に向けた 表現活動における指導の工夫	井上 哲義 江別市立江別第二中学校	加藤 隆 旭川市立台場小学校校長
	教科書題材での 鑑賞授業の実践	中島 圭介 旭川市立東光中学校	佐藤 折 三笠市立新幌小学校教頭
	自己理解・他者理解を 深める授業づくり	工藤 由香 恵庭市立柏陽中学校	村瀬 千穂 北海道教育大学教授

大橋功氏(東京未来大学)
講師の大橋功氏は、今年8月に大阪で開催されるINSEA国際美術教育学会あるいは日本美術教育学会でコーディネータや基調提案などで活躍されます。



大会事務局
北広島市立若葉小学校
若葉町3丁目12番地
011-373-5665
伝住(でんずみ)修一

ホームページ・メーリングリストからつながる「ひと」と「ひと」

北海道造形教育連盟

ネットワーク部長 小林 知 広

○情報を発信することから

ホームページを中心とした情報発信を通じて、各支部の様子や北海道造形教育連盟が推進している研究などを紹介してきました。昨年度まとめた「授業に使える情報BOX」[<http://hokuzou.kir.jp/box/box.html>]では、各サークルで行っている研修会、実践を綴った研究集録、作品集などを掲載することで、他の支部の様子を伝えることができるようになりました。今後も、新しい情報が届きしだい更新したいと思います。



○各サークルの活動を通して見えたもの

各サークルでの活動を集約してみることで、それぞれの地域で行っているひとつひとつの活動が、北海道造形教育連盟の研究主題である「出会いと対話から自己創造感が生まれる造形教育」を受けた取り組みであることを改めて感じることができました。

昨年度、空知美術教育研究会で行っている「子どもの作品を語る会」から依頼を受け、北海道造形教育連盟の委員を派遣し教育美術展の作品を通して、子どもの絵の見方を交流しました。詳しくは、下記まで

[<http://www.ee-mise.com/~sorati-art/index.html>]

○ネットワークの広がり

＜メールングリストの活用＞

ネットワークの基本はなんといっても「ひと」と「ひと」の結びつきです。しかしながら、広い北海道を考えると「ひと」と「ひと」が集まって話をするのが難しいのが実際のところ。そこで、昨年からのメールングリストを使って、ひとりひとりが情報を発信し全道の仲間間に情報を伝えることができるようにしました。各サークルで行っている事業の案内や公開授業の紹介、北海道造形教育連盟からの連絡などとして活用しています。たくさんの方に登録していただき、たくさんの情報が交流されることを願っています。

メーリングリストの登録を希望される方は、hokuzou.post@kagoya.net まで、メールにてご連絡ください。

＜美術館との連携＞

北海道造形連盟では、数年前から美術館との連携を考えてきました。昨年、北海道近代美術館で行った開館30周年の記念事業「Born in HOKKAIDO」では小学校6校、中学校2校の子ども達の作品を美術館に展示することができました。別な形にはなりますが、今年度も共同開催の事業を企画しています。

また、本郷新記念札幌彫刻美術館では、美術館の作品を学校に運んでいただき子ども達に本物のもつ力強さを伝える実践を行いました。はじめは、ただなんとなく見ていた子ども達も「よく見る」ことで次第にたくさんのことに気付き仲間と情報を交流しながら鑑賞を深めることができました。今年度は、この企画を札幌を中心に10校で実践する予定になっています。



昨年度の実践より～ Kinproワークショップ 三角山 ～

美術館を活用した学習のために

～美術館との連帯事業・教育普及事業の参画～

○美術館って何か敷居の高い感じが……

「美術館」というと、敷居が高く何か品のいいかしてまった場といったようなイメージを受ける方が少なくないと思います。私自身の生活を振り返ってみても、気軽にちょっと美術を鑑賞するといったことが日常の中にはそれほど多くないように思います。まして、子ども達にとってみれば、「専門家の人達が行く場所」というイメージのようです。しかしながら、美術館には作家が作り上げた本物の作品が並んでいます。作品を自分の目で見ることで、ひとりひとりの感性が動き、やわらかく豊かな心を育てる場になると考えられます。

○学芸員さんの力をお借りして

昨年度、北海道立近代美術館の企画「Born in HOKKAIDO」で、本連盟と共同企画を行うことができました。学芸員の力をお借りしながら、美術館に保管している作品の写真（美術館の許可を得て使用しています）を題材に学習を展開したり、直接学校にゲストティーチャーとして授業に参加していただいたりすることで、子ども達と美術作品との距離を近づけることができました。また、作家を学校に招き一緒に作品づくりを行い、できた作品を美術館の展示室に展示しました。自分たちの作品が美術館に展示されたことは、子ども達の心に大きく刻まれました。

○本物が持つ力を子ども達に

北海道造形教育連盟では、美術館との連帯事業・教育普及事業の推進を重点のひとつに考えています。今まで、学校と美術館とが別々に企画を考え、それぞれが事業を展開していましたが、互いの持ち味を生かしながら共同で企画を推進することでより、子どもの視点に立った物になると考えています。新しい情報は、本連盟のHPにて随時紹介したいと思います。

[<http://hokuzou.kir.jp/index.html>]

○教育普及事業を展開している美術館を紹介します。

◎北海道立近代美術館

札幌市中央区北1条西17丁目

TEL 011-664-6881

<http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi/index.html>

◎札幌芸術の森美術館

札幌市南区芸術の森2丁目75

TEL 011-592-5111

<http://www.artpark.or.jp/>

◎本郷新記念 札幌彫刻美術館

札幌市中央区宮の森4条12丁目

TEL 011-642-5709

<http://www.hongoshin-smos.jp/>

◎北海道立函館美術館

TEL 0138-56-6311

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.jp/hk-hakmu/>

◎北海道立釧路芸術館

TEL 0154-23-2381

<http://www.kushiro-artmu.jp/>

◎北海道立帯広美術館

TEL 0155-22-6963

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/obj>

◎北海道立旭川美術館

TEL 0166-25-2577

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.jp/hk-asamu/>

第35回 北海道教育美術展

応募要項概要について

正式な要項については後日発送の予定ですが、概要についていち早くお知らせしたいと思います。
今年度も、全道からたくさんの作品をご応募いただきますようお願いいたします。

応募の対象

・保育園・幼稚園・小学校・中学校 に在籍する園児及び児童

応募の規定

- ・ 絵画、版画、デザインなどの作品とし、学校（園）を窓口として応募する。
- ・ 大きさは4つ切り。4つ切り以下の作品は、4つ切り大の台紙に貼ること。
（中学校については、8つ切り大の台紙も可）
- ・ 1人1点の出品とする。（前年度の作品はご遠慮ください）
- ・ 作品の裏に応募票を貼る。
（応募票は募集要綱に載っているものをコピーして使用する）
- ・ 応募総数を学年別出品一覧表にまとめて添付する。
- ・ 作品は学年ごとに重ねて一つにまとめ、表に「教育美術展作品」と記載する。



☆絵画・デザインなどで様々な材料を用いた表現が見られますが、展示・保管上、次の規定をお守りください。

- * 積み重ねてもつぶれない、かさばらない
- * 接着が強固ではがれたりとれたりしない
- * 画鋏で展示が可能な重量である

締切・送付先

- 平成20年12月15日(月)まで
期日厳守のこと
- 〒064-0810
札幌市中央区南10条西17丁目1-1
札幌市立幌西小学校

北海道教育美術展係 宛

- ◇主催 北海道造形教育連盟
北海道新聞社
- ◇後援 北海道教育委員会
- ◇協賛 さっぽろ東急百貨店

株式会社 サクラクバス

問い合わせ先

札幌市立中央小学校

八 田 博 之

TEL:011-261-6568 FAX:011-261-5723

◆審査会へのお誘い◆

12月27日(土)・28日(日)の両日、札幌市立幌西小学校を会場に「教育美術展審査会」が開催されます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからも多くの先生方が審査会に参加しております。全道から1万点以上の園児、児童、生徒の絵画・デザイン作品が集まり、作品を見ることを通して実践について研修し合う、またとない機会です。是非、審査会へも多数ご参加ください。

今年度は北海道教育美術展の会期・会場が変更になります。

会期：平成21年1月8日(木)～12日(月)

会場：道新ギャラリー

あ と が き

こうして連盟報126号を皆様のお手元にお届けすることができ、部員一同ホッとしています。今回も各地区サークルには、組織体制の確立や活動の円滑なスタートのための地区運営にお忙しい時期に、原稿作成や諸調査へのご協力をいただき心より感謝しております。

会員のニーズに応えられるような紙面の充実に向けて、ささやかな歩みではありますが努力しておりますので、どうぞ、皆様からのご意見をお聞かせください。もうすぐいしかり北広島大会。全道のお仲間と大会でお会いできるのを楽しみにしています。

<北海道造形教育連盟広報部> 松本和彦・伊藤聡美・大高雅子